

日本地震工学会会員の皆様

平成 2008 年 5 月 20 日 (*改 6 月 15 日)

日本地震工学会会長 北川良和

IAEE 日本代表 小谷俊介

14WCEE への寄付のお願い

拝啓

新緑の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

すでにご承知の通り、第 14 回世界地震工学会議（14WCEE）を本年 10 月 12 日～17 日に北京で開催すべく、中国の主催者により準備が進められております。現在は、4800 件以上の論文の査読も済み、8 月初旬までに本論文の提出が要請されております。

さて、中国における執行責任者(Secretary General)である Qi Xiaozhai 教授から、国際地震工学会（IAEE）日本代表を通じて開発途上国から参加する研究者・技術者の旅費を支援する資金援助の要請が JAEF にありました。

日本は、11WCEE(アカプルコ)を始めとして、12WCEE(ニュージーランド)、13WCEE(バンクーバー)と継続して、発展途上国からの参加者の支援のために有志から善意の寄付金を集め、支援してきました。その趣旨は「地震工学の研究成果を少しでも世界の地震災害の軽減に役立てる」ことでした。11WCEE には IAEE に対する国内機関であった EE 懇談会から地震工学に関する技術者・研究者に呼びかけましたが、JAEF 設立後はその会員に寄付を募って参りました。

今回（14WCEE）の要請について JAEF 理事会で審議しました結果、これまでと同様に多くの会員に可能な限りのご支援をお願いするのがよいとの結論を得ました。この趣旨にご賛同いただける JAEF 会員の皆様方には 1 口 5 千円として 1 口以上の寄付のご協力をお願い申し上げる次第です。また、日本の貢献度を増すため、JAEF から別途 30 万円を支出し、皆様からのご寄付と合わせて JAEF から中国の WCEE 組織委員会に送ることに致します。14WCEE 組織委員会には使途限定寄付（Sponsorship）にて受け付けていただき、発展途上国からの参加者の支援にのみ使われるよう、JAEF から要請いたします。

つきましては、ご賛同戴けます場合には文末に記載の口座に 7 月 15 日 *) までにお振り込み戴きますようお願い申し上げます。諸事、多難の折、ご迷惑とは存じますが、世界の地震工学における日本の立場を考慮され、本寄付についてご理解を賜りますことを重ねてお願い申し上げます。なお、使途限定寄付に付随した種々の特典があり、これを日本の立場を強化するため JAEF が使用することをご了承下さるようお願い申し上げます。

敬具

ご寄付金の振り込み先：

銀行名：三菱東京 UFJ 銀行 田町支店（店番号 043）

口座番号：普通 0000756

口座名義：日本地震工学会 会計理事 鈴木康嗣

（ニホンジシンコウガクカイ カイケイリジ スズキヤスツグ）

お振込み期限：2008 年 7 月 15 日 *)